

利用者調査とサービス項目
を中心とした評価手法

「福祉サービス第三者評価を準用した調査」結果報告書(令和2年度)

2021年 1月 31日

株式会社アソシエ・インターナショナル 御中

郵便番号 140-0001

所在地 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー9階

評価機関名 株式会社 医療福祉経営研究所

認証評価機関番号

機構 07 - 180

電話番号 03-5422-7938

代表者氏名 薄井 照人



以下のとおり調査を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	新井 結花	福祉	H0802032
	②	金子 晴子	福祉	H0803032
	③	水田 智博	経営	H1001029
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可外保育施設(ベビーホテル等)			
利用形態(複数選択可) (該当する形態を選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 月極保育 <input type="checkbox"/> 時間預かり(一時預かり)保育			
調査対象事業所名称	アソシエナーサリー霞が関			
事業所連絡先	〒	100-0013		
	所在地	東京都千代田区霞が関1-2-1		
	TEL	03-6205-7596		
事業所代表者氏名	尾崎 美寧子			
契約日	2020年 8月 1日			
利用者調査票配布日(実施日)	2020年 8月 11日			
利用者調査結果報告日	2020年 10月 6日			
自己評価の調査票配布日	2020年 8月 20日			
自己評価結果報告日	2020年 10月 6日			
訪問調査日	2020年 10月 14日			
調査結果合議日	2020年 10月 14日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者調査の一環として、福祉分野担当の評価者による半日程度の滞在調査を実施し、利用者意向の把握に努めました。 ・職員の自己評価では、オリジナルの回答シートを用意し、階層別の評点分布だけでなく、より問題点を特定しやすいように集計結果をまとめて、事業所に報告しました 			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む調査結果報告書を受け取りました。

2020年 12月 22日

事業者代表者氏名

尾崎 美寧子



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 子ども一人ひとりの心に大切に寄り添い、生きる喜びと生きる力を育みます。 2) 安心・安全でかつ、子どもが主体的に遊ぶことのできる環境づくりをし、毎日自らの保育実践を振り返ってより良い保育を目指します。 3) 保護者のニーズを受け止め応え、保護者と共に子どもの成長を分かち合います。 4) チームアソシエとして積極的に協力し合い、一人ひとりが力を発揮し、生き生きと働きつづけられる環境を皆でつくります。 5) 感謝の気持ちを持って、自治体・関係機関・取引先を含めたすべての人とのつながりを大切にし、共に育ち合います。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命を預かる」という責任感を常に持ち続けること ・子ども一人ひとりの心に寄り添い、丁寧に関わること ・自らの保育実践を振り返り、より良い保育を目指して、皆で協力して工夫していくこと ・保護者が安心して仕事をしながら、十分な愛情とゆとりを持って子育てができるよう、密にコミュニケーションを取って保護者の気持ちを受け止め理解し、応援して、信頼関係を構築しアドバイスできるなど、保育の専門性と人間性を常に向上させていくこと <p>以上のことに前向きに、興味と探求心を持って日々学びながら、実践していける人材</p> <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>保育者は、子どもを決して否定せず、子ども一人ひとりの心に寄り添い、その一瞬一瞬の行動や反応・気持ちを受け止め、意味を理解し、より良い関わりを行えるような共感力と専門性を磨き続けなければならない。そのたゆまぬ努力の結果、子どもや保護者と信頼関係が得られたり、子どもの成長を保護者と共に喜び合えたりするなど、保護者に共感しながら支援していこうとする使命感を持ち続けて欲しいと思う。さらに、保育者本人も成長し、自己実現の喜びを感じられ、常に向上心を持って努力し続ける存在であることも求めている。</p>

調査対象

調査は世帯単位で実施。回答者のうち、記入者の年齢が、30歳代83%、40歳代以上17%です。

調査方法

調査票等は利用時に事業所経由で配布する形をとりました。回収は返信用封筒に調査票を入れ直接評価機関に郵送する方法をとり、利用者が気兼ねなく書けるよう配慮しました。

利用者総数	7
利用者家族総数(世帯)	7
共通評価項目による調査対象者数	7
共通評価項目による調査の有効回答者数	6
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	85.7

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想において、全員の方が「大変満足」と回答しており、非常に高い満足度が示されました。
 ・個々の質問に対する回答状況を見ると、17問中15設問は全員が「はい」と回答しており、2設問で80%以上の方が「はい」と回答しています。個々の取り組みについても非常に高い満足度が示されました。
 ・自由記述では5世帯から率直な意見が寄せられており、「緊急事態宣言中も毎日預かっていただき、大変感謝しております」「子どもにとって、とても良い環境だったのだと改めて思いました」といった肯定的な意見が多数ありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育施設での活動は、子どもの心身の発達に応じたものとなっているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「心身ともに健やかに発達しており、感謝しています」といった声が寄せられています。				
2. 保育施設での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「アクティビティが開催され、アートやスポーツなどに興味持たせてくれています」といった声が寄せられています。				
3. 【保育施設からの食事提供を受けている方のみ】 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「季節や行事に合わせて提供されています」といった声が寄せられています。				

4. 保育施設の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「手指消毒や保育士さんのマスク着用などの感染症対策も行われています」といった声が寄せられています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	5	1	0	0
「はい」と回答した方は83%と非常に高い満足度が示されています。「どちらともいえない」と回答した方は17%です。				
8. 子どもの保育について家庭と保育施設に信頼関係があるか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「送迎の際や連絡帳などでも相談できています」といった声が寄せられています。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。「けがをした際に、相手の名前を伏せて報告、謝罪をいただき信頼できました」といった声が寄せられています。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	0	0	0
全員の方が「はい」と回答しており、非常に高い満足度が示されています。				
17. 外部の苦情窓口(行政等)にも相談できることを伝えられているか	5	0	0	1
「はい」と回答した方は83%と非常に高い満足度が示されています。「無回答・非該当」は17%です。				

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、行政機関等相談先に関する情報の提供をしている	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>法人作成のホームページで当園の取り組みの他法人全体の概要を知ることができます</p> <p>法人作成のホームページで法人が経営する全ての園を紹介しています。法人が推奨している「SDGs」の取り組みや、「おうちでほいくえん」などは、「お知らせ」のコーナーで動画チャンネルなどを用いて発信しており、保護者のもとより、多くの方々に知っていただくために工夫して作成しています。法人全体の方針と各園の取り組みを知ることができます。当園の情報は、園について、保育目標、定員、開園時間が記載され、詳しい内容をする一つとして、園のリーフレットをダウンロードできるように構成されています。</p> <p>保育の様子や取り組みがよりイメージしやすい情報発信を検討することが期待されます</p> <p>当園は、農林水産省敷地内にある区の認可を受けている事業所内保育室です。利用される対象者が省内職員が主であることから、当園の利用案内は、農林水産省でも当園に関するパンフレットを作成しており、省内職員に情報提供がなされています。また、関係機関には毎月事業実績報告を提出しており、園児の空き情報など情報共有がなされています。当園の情報は関係省庁や法人ホームページにて得ることができますが、園児確保という点でも事業所内保育室の特徴や、園内の保育の様子や取り組みがよりイメージしやすい情報発信を検討することが期待されます。</p> <p>子どもの様子や行事やアクティビティの取り組みを資料などを用いて説明しています</p> <p>見学希望者への対応は、基本、希望する日程に合わせていますが、15時30分からの園内での子どもの様子を見て頂くよう勧めています。現在、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて子どもの受け入れをしています。コロナ感染を危惧する方もおり、実際に子どもが過ごしている環境を見て安心感を得ていただければと園は考えています。密にならず、子どもが落ち着いて遊んでいる様子を見て頂くことで、安心して通園してもらえるよう意図しています。また、普段のお散歩の様子やアクティビティ、行事の様子などは写真を用いて作成し紹介しています。</p>		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園ガイドブックおよび重要事項説明書にて園生活に関する内容を丁寧に伝えています</p> <p>契約にあたり予め契約時に必要な書類は郵送し、目を通していただき、質問などは入園前面談の際に受けることができるようにしています。保護者に配布している「入園ガイドブックおよび重要事項説明書」は、児童憲章や法人の使命など保護者に伝えておくべき内容を見出しで整理して写真やイラストを多用して丁寧に記載しています。乳幼児突然死症候群(SIDS)や、災害に備えて伝言ダイヤルのことなども掲載しており、園生活を送るにあたり保護者が困った時にいつでも確認することができる手引書のようなガイドブックとなっています。</p> <p>子どもが新たな環境に無理なく慣れていけるよう配慮しています</p> <p>入園直後は子どもにストレスがかからないよう、利用前の見学時から出来る限り子どもの担当となる予定の職員が関わるよう体制を整えています。まずは場所と人に慣れること、特定の人と関係を深めてから少しずつ他の環境に慣れていけるよう接しています。園では入園初日からおおそ1週間を目安として「慣らし保育」を実施しています。子どもが食事を取れているかを判断基準としており、子どもの様子次第では期間延長を保護者に要請することもあります。子どもが新たな環境に無理なく慣れていけるよう配慮しています。</p> <p>それぞれの家庭で考えている卒園後の進路を尊重して保育を組み立てています</p> <p>当園は2歳児までの乳児園です。卒園後の進路については入園前から早めの情報収集と活動を個々にしていただくよう伝えています。当園での子どもに対する保育は、子どもが3歳になるまでの成長過程を踏まえてしっかりベースを形成し、3歳以降は幼稚園に通うなどそれぞれの家庭で考えている卒園後の進路を尊重して保育を組み立てています。当園は事業所内保育室であることから、卒園後も保護者が通勤してくる場所にあるという利点もあるため、いつでも相談に応じることができる体制作りをしていきたいと園は考えています。</p>			

サブカテゴリ3		
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

月案は、乳児期の子どもの発達に適した保育となるよう細やかに作成しています

全体的な計画と年間指導計画は法人全体で統一した素案が作られており、園ごとの取り組みとなる部分を加筆修正して参考にしています。クラスの月案は、前月の園児の姿、月のねらい、配慮すべき事項などから始まり、食育に関する期のねらい・具体的な内容、イングリッシュ・ミュージック・アート・スポーツについて、今月のテーマ・具体的な内容を、養護・教育(5領域)について環境構成・援助についての計画が記載されています。その年齢の発達に適切な保育内容で乳児期の子どもの姿を細かく捉えて毎日の保育に取り組んでいます。

個別月案から子ども一人ひとりを大切にしている当園の保育方針が窺えます

子どもの個別月案はクラスで作成している月案を基に、一人ひとりの発達状態を把握した中で作成しています。個別月案は、前月の園児の様子、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)ごとに今月のねらいと内容、環境構成、援助・配慮事項が示され、子育て支援(保護者支援)と月の評価と反省・自己評価を記載する様式となっています。その月に着目すべき子どもの援助内容やどのような環境構成が必要なのか、また、保護者と共有すべきことなどが丁寧に示されています。子ども一人ひとりを大切にしている当園の保育方針が窺えます。

日案はその日に行う活動等を時系列で記入しています

当園で作成している日案は、月案に記載している「月のねらい」と「月の予想される園児の姿」を明記しているため、職員への意識付けという点での利点があります。また、園に滞在している時間を3分割してその時間帯で何を行ったかを記載しているため、より詳しくその日の様子を記録することができています。また、園児用連絡ノート、職員用連絡ノート、昼ミーティングノートを出勤時に確認してから業務に就くよう周知しており、職員間での情報共有に漏れの無いよう取り組んでいます。

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>重要事項説明書内に個人情報の取り扱いについて丁寧に記載し同意を得ています 入園ブックおよび重要事項説明書内に個人情報保護について細かく記載しています。「個人情報保護に関して保護者の方へのお願い」として、園では個人情報が外部に出ないよう周知徹底していますが、情報管理について園での把握が困難なことを明確に記載しています。保護者の方が撮影した写真ビデオや保護者や第三者によるインターネット上での掲載(ブログ)などを挙げています。保護者が得た情報も子どもの成長記録以外には使用しないということも明記されており、保護者も個人情報保護に取り組む必要があることへの意識づけにつながっています。</p> <p>小さな子どもだから大丈夫ではなく一人ひとりを丁寧に保育することに取り組んでいます 乳児であっても職員は子どもの尊厳や羞恥心に配慮した行動を取ることを心がけています。水遊びやシャワーのあとの着替えについても、裸のまま入室することのないよう、職員が抱っこして入室してから着替えに入るよう周知しています。これは安全衛生にもつながること、小さな子どもだから大丈夫ではなく、一人ひとりを丁寧に保育するということに取り組んでいます。保育室内でのおむつ替えなども職員間で確認し合い対応しています。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>「クレド」をベースに子どもにとって何が一番いいのかを考えるよう取り組んでいます</p> <p>職員は入職時に「クレドカード」が渡されます。法人の基本方針である「アソシエの約束」から始まり、「保育目標」に続いて、「クレド」の部分には社員としての行動指針が記され、子ども、保護者、社員、地域に対してどのように取り組むのかが簡潔に示されています。昼ミーティングの時、子どもに対する関わりなどについて職員に伝える際、園長は「クレド」をベースに伝えるようにしています。子どもにとって何が一番いいのかを考える土台がこの「クレドカード」に示されており、職員の気づきとなるよう取り組んでいます。</p> <p>基本的な視点を共有することで、アソシエとしての保育の標準化を図っています</p> <p>園で使用する各種マニュアルは、法人全体共通のもので、その中に「アソシエ・インターナショナルの保育の考え方」というマニュアルがあります。このマニュアルは基本理念、保育目標が記載され、「1日の保育の流れと基本的生活への配慮」として、1.登園・降園、2.遊び「外遊び(散歩)での安全」「水遊びでの安全」3.食事「母乳」「粉ミルク」「離乳食」4.着脱、5.排泄、6.午睡、7.「保育日誌」「連絡ノート」についてまとめています。基本的な視点を共有することで、アソシエとしての保育の標準化を図っています。</p> <p>園内で改善すべき点などお互いに出し合い検討することができています</p> <p>昼ミーティングは主任中心に進められ、月1回開催している職員会議は園長主体で進めており、さらに月2回、看護師による研修会の開催など、園内での役割を明確にして、業務に関すること、保育に関することなど職員全体で検討する機会が設けられています。園内で改善すべき点などお互いに出し合い検討することができており、手順の見直しなどにつなげています。今後、更なる取り組みとしては、重要事項説明書など保護者に伝えている園内のルール等について改めて確認する機会を作り、園内におけるマニュアル作成や見直しに役立てることも期待されます。</p>			

II サービスの実施項目(サブカテゴリ-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(00000)・非該当1	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味と関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ○なし	6. 【5歳児が利用している保育施設のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている		◎非該当
評価項目1の講評			
<p>指導計画や連絡帳等で子を把握し、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を構築しています</p> <p>開園3年目で定員19名と小規模園です。年間計画から月・個別の月指導計画・個別の日誌まで、書式が連動しているので個々の発達や姿を把握し保育を実践しています。個別の計画は前月の姿からねらいと内容1・2歳児のクラス日誌は子どもの姿・働きかけの項目で保育のポイントと考察をしており保育に繋がりががあります。園では「一人ひとりに丁寧に関わり、気持ちに寄り添う」を重要課題として職員間で共通認識しており、毎日のミーティング・連絡帳・送迎時の保護者とのやり取りを大切に子どもを把握し保育を構築しています。</p> <p>園庭の活用では、職員が手作りの砂場を作り遊びに広がりを持たせています</p> <p>保育室側のウッドデッキから園庭に出られます。自然を活かし雑草があり、ダンゴ虫や草花を摘んだりと自然と関われる空間があり、午後の園庭遊びや滞在時はデッキにたらいを置き、1歳児の水遊びや2歳児はフェンスに紙の絵を下げ水鉄砲的であて遊びをしており、クラスに応じた活動が見られました。公園の砂場は衛生上利用出来ず、今年度は職員で園庭の雑草を一部刈り込み10月から木の枠を組み砂場を作り、砂の感触やじっくり砂遊びが楽しめています。乳児の砂場遊びは発達上では欠かせず職員の工夫が見られ子ども達の活動に広がりが来ています。</p> <p>家庭の雰囲気や大切に異年齢の交流を図り、その中で育ちが見られます</p> <p>0歳児から2歳児まで自由活動時では1・2歳児は好きなコーナーで遊んでおり、ゆったり家庭的な雰囲気の中で過ごしています。コーナーは低い柵や柵で仕切られ、マットやトンネルを置き体を動かすコーナーもあり、2歳児が遊ぶ様子を1歳児が見て刺激を受けたり、月1回のアクティビティでは、音楽・英語は皆一緒にグループで実践しているので、大きい子どもの真似をしたり大きい子どもが声をかけたりと兄弟の様な関わりも見られ少人数保育の良さが活かされています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの情報を職員間で共有し登降時の受け入れ・送り出しの際、保護者に伝えています</p> <p>園児の受け渡しは保育室をロッカー棚で仕切ったスペースで行っているため保育や室内の様子は見られます。連絡帳は複写を使用し登園時は連絡帳や口頭・目視で子どもの様子を確認しながら受け入れています。視診表に個別に検温・お迎え時間・健康状態・登降園時に伝言する事等を記録化しており、担任から保護者に伝わる様周知しています。看護師を中心に個々の体調管理を丁寧に確認しています。お迎え時は玄関スペースの掲示場所のホワイトボードにその日の活動を記載し、事務室側壁に子ども達の活動の写真を掲示し情報提供をしています。</p> <p>子どもの発達に合わせ丁寧な関わりで生活習慣が身につくよう援助しています</p> <p>少人数なので、一人ひとりの姿を職員間で確認しながら子どもの発達に合った支援をしており、食事では0歳児は月齢に合わせてテーブル付き椅子を使用したり、食器は食べやすいウエーブ型を使用しています。排泄は子どもの遊びの様子やタイミングを見ながら1、2名づつ介助しており、トイレトレーニングは保護者と確認しながら進めています。クラスだよりで食事や着脱の様子を写真とコメントを載せ掲載しています。お迎え時に保護者とコミュニケーションが十分とれており、生活習慣の大切さを話し園と家庭で確認しあい子育て支援に繋がっています。</p> <p>子どもの状況を把握し午睡の配慮をしています</p> <p>保育士は受け入れ後に全園児の連絡帳を読み家庭での様子や子どもの体調等を把握し、またミーティングでも情報共有をしたうえで個々の状態を見ながら、午睡時間の配慮をしています。クラスをコーナーで仕切っており、午睡はクラス単位や0歳児は午前寝・夕寝を取り入れるなど子どもの生活リズムに合わせています。0・1歳児は午睡チェックセンサーを使用し、さらに5分毎にパターナイフで呼吸チェックを行うなど徹底した対応がなされており、乳幼児突然死症候群(SIDS)予防対策の有効な取り組みと推察されます。</p>		

3 評価項目3
 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

広い保育室にコーナーを設定し主体的に好きな遊具で遊べる環境づくりを実践しています
 子どもが好きなコーナーで遊べるよう環境設定しています。低い棚で仕切り、ままごとコーナーには木製のキッチンや手作りのレンジが置かれ、ミニのフライパンや布の野菜などで見立て遊びができます。汽車・ブロック等は棚に置かれカゴで分類し写真をつけて片付けやすい配慮があります。また、テーブルやマットを活用して身体を動かして遊べる場所も作っています。保育士は子どもの遊びの様子を見ながら遊具の入れ替えや設置場所を変えています。自由活動は静・動の遊びを組み合わせ、手作り玩具を設置など保育士の工夫が見られます。

月1回、外部の専門講師による4種のアクティビティは楽しみな活動になっています
 月1回、英語・音楽・アート・スポーツの各4名の専門講師が来訪し30分の活動をしています。年間計画に沿って英語・音楽は1グループ、アート・スポーツは2グループに分け活動しています。スポーツは保育士にも指導があり他の活動も日々の保育に取り入れ保育に繋がりを持たせています。活動の様子は写真とコメントを載せクラスだよりや掲示して保護者に様子を伝えており保護者からも感謝の声があります。男性講師が2名おり、子ども達には、外部の講師と触れ合える機会があり楽しい活動になっています。

官公庁内の特性を活かし、園庭や近隣の公園は緑の樹木が多く季節を体感出来ています
 省内敷地に園舎があり、道路の要所要所に警官が警備をしているので安全面は守られています。近隣に日比谷公園があり、四季の花や樹木等自然事象に触れられる恵まれた環境があります。水遊び期間と雨の日以外は午前中は散歩や公園に行き午後園外や園庭あそびを実践しています。園庭は広くはないですが、フェンスはツタで囲まれ、雑草のままで土の感触やダンゴ虫等の生き物もおり五感が育っています。他の省内の保育園と出会うたり、省内の「消費者の部屋」では季節の食料の展示を見学したりと興味・関心が広がる恵まれた環境があります。

4 評価項目4
 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

行事に向けて制作の過程を大切に、興味・関心を引き出しています
 玄関フロアに子ども達のハロウインの絵を展示し、保護者と会話を楽しめる工夫があり季節にあった作品を展示しています。今年度は新型コロナウイルス感染による行事の変更があり、夏まつりは形を変えて実施しました。子ども達だけで行う、屋台を中心としたお店遊びや野菜スタンプ金魚すくいと5日間行い、最後はスイカ割りや保護者と顔出し撮影と日替わりで子どもの興味や関心を持たせ楽しみながら実施しました。時間をかけ喜びを共有できる企画は子ども中心で良いと評価できます。作品展も落ち葉を拾い制作に繋げ作る過程を大切にしています。

運動会は3日かけ室内で園児のみで行い、楽しみながら充実した活動を実践しました
 今年度の運動会は子どものみで3日間実施しました。保育士とふれあい体操をしたり、子どもの様子を見ながらプログラムを変え子ども主体で楽しく実践し、保育に柔軟性を持たせ子ども中心の活動になっています。室内を斜めに使い、かけっこや手作りポン具の応援で最終日は賞状授与式と日を追って成長が見られ子ども達も皆でやり遂げる喜びを味わっています。形式を変えた事で個々の発達や長所が把握でき保育が充実したものになっており職員の発想や視点を変えた取り組みです。運動会の様子は保護者も確認できるような情報提供しています。

掲示での依頼や園児のみの行事は動画や写真等で工夫し理解・協力を得ています
 年度初めに年間行事予定表を配布しており、月のたよりに今月の予定表を掲載し行事に関する事は掲示もしています。取り組みの様子はクラスだよりで写真とコメントで知らせており、事務室前の壁には子ども達のみの夏まつり・運動会の写真とコメントを添えて掲示しています。お迎え時に保護者がじっくり見られる位置で掲示に工夫があります。運動会では個々の子どものかけっこやふれあい体操・応援の様子の活動を動画で撮り、お迎え時に保護者にタブレットで観ていただき、保護者から子どもの成長を喜ぶ声と感謝の声をいただいています。

5 評価項目5 在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>一日の活動の中に変化を持たせバランス良く過ごせる工夫が見られます</p> <p>少人数の保育なので、登園時間が遅れた子は自由活動の時間を多めにし満足したら次の活動に移行します。午前中は園外へ出かけた後、専門講師の活動や室内でもマットやトンネルを出し身体を動かしたり、園庭遊びを取り入れており一日のプログラムは自由保育・朝の会・午前の保育プログラム・午後の自由保育・帰りの会・延長保育と流れが来ている事で子ども達も安心して遊んでいます。静・動のバランスが取れた保育を実践しています。ワンルームを3ヶ所のコーナーで仕切り遊びが選べ保育士はしっかり子と関わり支援しています。</p> <p>夕保育から延長保育専属の保育士がおり、ゆったり安心して過ごせる様配慮しています</p> <p>延長保育は18時30分から21時までですが、お迎え時間が19時以降となる子どもには夕食を提供しています。スポット利用では年度末に利用が多い現状です。17時から延長終了まで専属パートがおり輪番で正規保育士と2名で保育をしています。専属保育士がいる事で子ども保護者も安心し信頼関係が築けています。延長用の玩具を出し好きな玩具で遊んだり保育士と絵本をみたり落ち着いた環境があります。延長保育日誌には・保育計画・実施保育・食事の様子・その他を記録化しています。</p>		
6 評価項目6 子どもが安全な環境のもと食事を楽しめるよう配慮している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが安全に食事をとれるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	5. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>食事コーナーでは横並びで座り、落ち着いて食べられるよう配慮しています</p> <p>保育室は広く食事コーナーがあり配膳が終わってから、手洗いをし着席しており0歳児は早目に食べ始めています。新型コロナの感染防止の為にテーブルは2名の横並びで正面に保育士が1名つき介助しています。少人数なので全体に落ち着いており、席は固定せず、子どもの様子を見ながら席替えの配慮をしています。食事時間は30分を目途に子の体調や気持ちに合わせており無理なく食べられる様声掛けをしています。今年度は食物アレルギー児はいません。全園児と一緒に食べており保育士は食事前に少量の献食をしています。</p> <p>行事食や郷土料理を取り入れたり、食具も乳児に合ったものを使用しています</p> <p>献立は2週サイクルで、法人全体でブロック別で栄養士が献立作成をしています。郷土料理やオリンピックに関連して各国のメニューも取り入れており、味付けは乳児に合わせ薄味です。行事食では七夕に星型のご飯やあじさい寒天・カタツムリ型のクッキー等工夫があり、子ども達や保護者の感想も好評です。毎月発行の食育だよりに月のクラス別食育活動を掲載しており、8月は2歳児の米とぎ・野菜の泥洗い等を実施し、お盆の精進料理の由来やわらび餅の作り方等保護者に情報提供をしています。</p> <p>毎月2回以上の食育活動や、省内の「消費者の部屋」の見学で興味・関心を広げています</p> <p>栄養士による食育年間計画が作成され、食育便りに月のクラス活動予定を掲載しており、プランターでオクラの種まきや秋野菜の種まきから栽培・収穫体験の様子を写真とコメントを載せて保護者に活動を伝えています。担任・栄養士が連携し月2回以上、保育の中に食育活動を取り入れており人参・ごぼう等を洗う・皮むき等実物に触れ楽しみながら実践しています。省内の「消費者の部屋」は定期的に行き、魚の模型をみたり、食に関するイベントに参加しており園ならではの特色を活かした取り組みを実施しています。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	○非該当
評価項目7の講評		
<p>看護師や保育士の言葉がけで健康・安全に過ごせる様に支援しています</p> <p>玄関フロアから保育室に入る手前に手洗い場があり、登園時は保護者と手洗い・検温をしてから入室しています。0歳児用に事務室の隣に授乳室があります。保育室内の手洗い場に台が置かれ手洗いの配慮があります。朝の会で活動を伝え公園は行き場所を話してから出かけ、園外時は約束事を話し手を繋いで歩く・信号場所は車道から離れて待つ・信号等安全面を確認しその都度声掛けをしています。他園での事故ケースの情報を伝えたり、園内の危険箇所チェック表やヒヤリハットを記録化し事務所にシールで確認箇所を貼り情報共有しています。</p> <p>看護師が中心に子どもの体調の変化や保護者との連携を図り予防を啓発しています</p> <p>0歳児からの園なので常勤の看護師がおり、0歳の散歩等にも付き添い保育に関わっています。検温は38度以上・おう吐1回・下痢2~3回等で保護者に連絡しており受診の必要性を看護師から伝えています。月1回の0歳児健診では、囁託医に流行の感染症の情報を聞いたり、臨床心理士の巡回指導時に相談でき連携が図られています。毎月ほけんだよりの発行や感染症が発症した時は掲示や口頭で知らせ予防を啓発しています。看護師は毎月テーマを決め心肺蘇生訓練・応急処置等職員に研修を実施しており危機管理の意識を持たせています。</p> <p>朝の会やお別れの会で、入・退園児を紹介し不安を軽減し安心感に繋げています</p> <p>途中入所児に対して「朝の会」で紹介し在園児や保育士と顔合わせをして興味を持たせたり、在園児は新しい友達に関心を持ち友達が増えた事を知る機会を作って安心できる場に繋げています。退園の時は「お別れの会」を午後に行い、子どもの1年間の様子をスライドショー・動画で上映会を実施し園での思い出作りをしています。入所児や在園児で不安な気持ちになってしまう子どもには保育士と1対1の対応で寄り添った保育をしており、安心して過ごせるよう個別の配慮をしています。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、保育施設の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者会時に1年間の様子をスライドショー・動画で上映し成長を確認しています
 年2回実施の保護者会は今年度は中止していますが、昨年度は年度末に園生活の1年間の様子をまとめBGM付スライドショーにて上映会を実施しており、今年度も計画していますがコロナ禍での実施については方法を検討しています。園での活動の様子を保護者に伝える様以前より回数を多く写真掲示とコメントを添えて保育の様子が見える工夫やお迎え時に保護者とコミュニケーションをしっかりとるようにしています。視覚で園生活の様子を伝える事で保護者と子どもの成長を確認する場を提供しています。

園と保護者が子どもを皆で大切に育てる共通認識をもち信頼関係を構築しています
 19名定員で小規模園です。園で大切にしている事に保護者とコミュニケーションを図り子を大切に育てていると言う共通認識を図っています。連絡帳と合わせて家庭での様子や園での様子・エピソードを個々の保護者に丁寧に伝えています。職員は保護者の気持ちを受け止め、理解・支援し信頼関係を構築しアドバイスが出来る職員を育成しており、職員間のチームワークも良く保護者の安心に繋がっています。利用者調査では園に対する満足度は非常に高く評価も高いです。

今年度は保護者会の代替で紙上保護者会として「保護者通信」を発行する予定です
 新型コロナ感染の影響で保護者会は中止しており、運営委員会の了承を得て紙上保護者会でアンケートを実施し保護者間で情報交換が出来るような内容で「保護者通信」の準備をしています。コロナの自粛中はどうしてましたか？、夜寝るまでの過ごし方は？、他の保護者に聞きたい事はありますか？等の内容で11月に発行を予定しており今後は紙上保護者会を年3回実施する計画があります。園の工夫で保護者とコミュニケーションを深め、保育理解や親支援に繋る対応として評価出来ます。保育参加は今年度から実施の予定でしたが中止しています。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育施設の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

省庁内の「消費者の部屋」や公園のイベント・消防署の見学等で交流を図っています
 省庁内に「消費者の部屋」があり一般も見学ができます。園児が定期的に訪れ魚の模型や農産物・生き物と触れ合ったり展示内容も変わるので楽しみにしており省庁内の職員とも触れ合え貴重な体験が出来ています。近くに日比谷公園があり、散歩も兼ねて花の展示会等イベント見学や憲政記念館・消防署見学は年数回実施し消防車に乗る体験をしています。官公庁街なので民家はありませんが要所要所に警察官がおり、安心・安全な園外活動が出来ており保護者の安心にも繋がっています。

見学会を兼ね園の活動に参加を実施していますが広報や情報提供の見直しを期待します
 地域行事は各省庁のイベントに参加や「霞が関子ども見学デー」は外部の小学生も参加でき企画内容に合わせ参加しています。昨年度は夏まつり・運動会の行事に卒園児を招待しています。園の見学会時にアクティビティの参加も呼びかけたり、育休中に親子での見学者に手作り玩具の紹介や保育体験・育児相談を行い親支援もしていますが、参加者は少ない現状です。11月・1月に入所の予定はありますが定員に空きがあるので、広報やチラシ・ホームページ等で情報発信をしていく事が望まれます。

Ⅲ 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況	7/9
1 評価項目1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			
		評点（〇〇）	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			
		評点（〇〇）	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる			
		評点（〇〇〇●●）	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
○あり ◎なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している		○非該当
○あり ◎なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当
利用者保護の講評（※利用者保護の内容から3つ（必須）記載してください）			
<p>口頭や連絡帳、運営委員会にて保護者の意見を把握しており、満足度も高い状況です</p> <p>保護者からの意見や要望については、お迎え時や連絡帳にて把握します。昼ミーティングで口頭で共有されますが、統一した組織的な対応ができるようノートに記述することも期待されます。保護者、省庁担当者、園長、主任、事業部、有識者で構成される運営委員会では、コロナ禍における新しい生活様式に基づく保育状況や感染症対策について説明しました。保護者会が開催できないため、自粛期間中の生活や子どもが寝ない時の対処法などのアンケートを取り、「保護者通信」として紙面上の開催準備を進めています。保護者からの満足度も高い状況です。</p> <p>クレドの読み合わせやセルフチェックなど、同じ目線の保育となるよう働きかけています</p> <p>クレドの読み合わせやビジョンに立ち返ったり、行事の反省、園内研修で定期的に子ども達への関わり方を振り返ります。保育室が見渡せる環境のため、日常的に職員同士で言動を確認し合え、その関係性もあります。全国保育士会の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いた自己チェックでは、職員からの意見を共有し、「どう思いますか」と投げかけることで、職員自身の言葉で具体的な対応・対処方法を話し合います。「子ども一人ひとりの心に寄り添い、生きるよるこびと生きる力を育む」ための同じ目線に立った保育となるよう働きかけています。</p> <p>発達や環境設定などより広い視野で軽微事故の再発防止策の設定・評価が期待されます</p> <p>4月応急処置、7月熱中症、10月嘔吐処理といった季節に応じた保健に関する年間研修計画を立て、危機管理意識の醸成・再確認しています。他施設の事例もグループウェアなどで確認し、避難訓練や緊急時対応訓練に生かします。「応急手当表」は事故・ケガの内容ごとにすぐ行う処置や対応が一覧表になっています。事故報告書（軽微事故）の再発防止策の視点が職員配置（立ち位置）に関わる内容が多く、根本的な再発防止策とはいえません。乳児園ゆえに子どもの発達や環境設定、危険予知などの視点でも再発防止策の設定、評価を行うことが期待されます。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している
タイトル①	月案は、乳児期の子どもへの発達に適した保育となるよう細やかに作成しています	
内容①	全体的な計画と年間指導計画は法人全体で統一した素案が作られており、園ごとの取り組みとなる部分を加筆修正して参考にしています。クラスの月案は、前月の園児の姿、月のねらい、配慮すべき事項などから始まり、食育に関する期のねらい・具体的な内容、イングリッシュ・ミュージック・アート・スポーツについて、今月のテーマ・具体的な内容を、養護・教育(5領域)について環境構成・援助についての計画が記載されています。その年齢の発達に適切な保育内容で乳児期の子どもへの姿を細かく捉えて毎日の保育に取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-2	全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル②	個別月案から子ども一人ひとりを大切にしている当園の保育方針が窺えます	
内容②	子どもの個別月案はクラスで作成している月案を基に、一人ひとりの発達状態を把握した中で作成しています。個別月案は、前月の園児の様子、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)ごとに今月のねらいと内容、環境構成、援助・配慮事項が示され、子育て支援(保護者支援)と月の評価と反省・自己評価を記載する様式となっています。その月に着目すべき子どもの援助内容やどのような環境構成が必要なのか、また、保護者と共有すべきことなどが丁寧に示されています。子ども一人ひとりを大切にしている当園の保育方針が窺えます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル③	子どもの状態に合わせた午睡対応と乳幼児突然死症候群予防への取り組みがあります	
内容③	保育士は受け入れ後に全園児の連絡帳を読み家庭での様子や子どもの体調等を把握し、またミーティングでも情報共有をしたうえで個々の状態を見ながら、午睡時間の配慮をしています。クラスをコーナーで仕切っており、午睡はクラス単位や0歳児は午前寝・夕寝を取り入れるなど子どもの生活リズムに合わせています。0・1歳児は午睡チェックセンサーを使用し、さらに5分毎にバナーナイフで呼吸チェックを行うなど徹底した対応がなされており、乳幼児突然死症候群(SIDS)予防対策の有効な取り組みと推察されます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園舎は木のぬくもりがあり、園庭や保育室は子どもが主体的に遊び込める環境設定となるよう職員がアイデアを出し実践しています
	内容	当園の園舎は木の外観で室内も木で統一され、天井が高くベランダのデッキから園庭に出られます。室内はワンフロアで広く低い柵で仕切り、床マット等を使い少人数で遊べる空間を設定しています。柵にはままごと・指先遊び・汽車・パズル等木製の遊具が多く並べられ、絵本ラックもあり、子どもが主体的に好きな遊びが出来るよう構成しています。体を動かすコーナーも保育士が工夫して設定しており一緒に遊ぶ姿がありました。子ども達の発達や遊びの様子を把握し、環境構成の配置や手作り遊具等、職員はアイデアを出し保育を実践しています。
2	タイトル	家庭と連携しコミュニケーションを大切に、一人ひとりの姿を把握し成長に応じた丁寧な保育を実践しています
	内容	乳児の月の個別指導計画から連動した個別日誌を記録化しており、前月の様子から当月のねらい・内容を作成して子どもの成長へと繋げています。連絡帳を基に受け入れ時は保護者と確認し、お迎え時は連絡帳を手渡しながら子どもの様子やエピソードを丁寧に伝えていきます。保育室をロッカーで仕切り保護者もロッカーの所でゆっくり担当保育士とコミュニケーションを図る事が出来ており、保護者の信頼・満足度は非常に高いです。少人数の保育なので、保育士が子どもの気持ちに寄り添い子どもの時間でゆったりした保育を構築しています。
3	タイトル	コロナ禍において保護者が安心して子どもを預けられるような園の対策への評価と信頼関係の高さが利用者調査の満足度につながっています
	内容	コロナ禍における退園や利用自粛が相次ぐ中、新しい生活様式に基づく保育状況や感染症対策について、運営委員会にて説明を行いました。コロナ対策として、職員のマスク着用や保育室の消毒・換気、来園者は玄関にて手洗い・検温を徹底し、給食は子どもを横並びに座らせて飛沫防止を講じるなど、保護者が安心して子どもを預けられるよう努めています。保護者が開催できないため事前にアンケートを取り、「保護者通信」として紙面上の開催準備を進めています。利用者調査の満足度は非常に高く、保護者と園との信頼関係の高さが伺える結果といえます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	省庁が発行している資料を活用したり、園の環境や状況を鑑み、優先順位をつけながら事業継続計画(BCP)を作成することが期待されます
	内容	コロナ発生時は事業部、自治体、省庁担当者で連絡を取り合い、対策を講じてきました。避難訓練や保健に関する園内研修を行い、万が一に備えた危機管理意識の醸成や再確認を行っています。地震や火災の発生時は災害マニュアルに基づいて対応することとしていますが、事業継続計画の作成には至っていません。職員の参集基準や備蓄、保護者の就労先の対応などを把握するとともに、省庁が発行している「災害時チェックリスト」などの資料を活用し、園の環境や状況の中で最低限必要なものから優先順位をつけ、事業継続計画の策定が期待されます。
2	タイトル	保護者に伝えている園内のルール等について改めて確認する機会を作り、園内におけるマニュアル作成や見直しに役立てることも期待されます
	内容	経営方針、保育に対する考え方など全職員が同じ方向性で職務にあたるよう法人が作成している各種マニュアルがあり、また、全体的な計画や年間指導計画についても法人発信で素案があります。園では、これらを活用して業務の標準化を図り、見直し等がある場合は、昼ミーティングなどで職員間で検討する仕組みも整えています。今後、更なる取り組みとしては、重要事項説明書など保護者に伝えている園内のルール等について改めて確認する機会を作り、園内におけるマニュアル作成や見直しに役立てることも期待されます。
3	タイトル	
	内容	

